

朝六小だより

朝霞市立朝霞第六小学校

児童数 1067名

令和6年12月1日号



最高のプレゼントとは？

校長 田邊 雅也

11月の授業研究会で試行錯誤

11月も、六小の教員による授業研究会を開催しました。教員が授業力を身につけることは、子供たちの学力・体力・道徳心など、「生きる力」を育むことにつながるので、とても大切にしています。継続的に実施し、評価し合いながら、授業力を高め合っています。今回の研究会は、3年生の「おすすめの公園」をたくさんの方に知らせるにはどうしたらいいのかを真剣に考える授業でした。低学年から積み重ねてきたPowerPointでのプレゼンテーションの力も身につけ、iPadが当たり前の文房具となっています。また、6年生の学級では、朝霞自慢の「YOSAKOI」をもっと広げるために、どうしたらいいのかを、保護者・地域のことを考え、話し合う授業でした。6年生は、学級ごとに探究の課題が違いますが、真剣な試行錯誤をしています。授業研究会とは、教師にとって、教育活動を創り出すという、産みの苦しみはありますが、子供たちが真剣に学ぶ姿が見られたとき、最高のプレゼントのように感じます。

だれにとっても慌ただしい師走

プレゼントと言えば、クリスマスです。今年も11月30日から、「あさか冬のあかりテラス2024」が開催されています。きらきらするイルミネーションは、クリスマスが近づいてきたのを実感すると同時に、今年一年の終わりを感ぜさせてくれます。昔から、12月は、僧侶のような落ち着いた人でも、多忙で走り回ることから「師走」と言われています。12月の学校は、授業を研究するよりも、学期末テストや成果物で、2学期の学びが、子供たちに定着しているかを確認・評価する時期です。子供たちも教師も、慌ただしい時間となります。保護者・地域の皆様も、12月は、仕事や家庭で、慌ただしい日々をお過ごしになる方が多く、師走は、だれにとっても慌ただしい季節です。

クリスマスは太陽（光）のお祝い

そんな慌ただしい12月ですが、多くの日本人にとって、楽しいイベントであり、特に子供たちが大好きなクリスマスについて調べてみました。クリスマスは、イエス・キリストの降誕祭（こうたんさい）であるという記事を見つけました。それによると、新約聖書では、キリストの生まれた日を特定しておらず、誕生日のお祝いではなく、キリストがこの世に誕生したことをお祝いするようになっていったそうです。なぜ12月25日なのかというと、紀元前2世紀から3世紀の12月25日は、「冬至」でした。今は12月21日ですが、昼間の時間が最も短くなる日となります。しかし、この日を境に再び昼間が長くなり、太陽・光の力が強まっていくことをお祝いしたそうです。太陽・光を大切にしていた当時のヨーロッパの人々は、イエス・キリストを「光」として考え、クリスマスを祝うようになっていった、とのことでした。

プレゼントとお仕置き

子供たちにとって、クリスマスで一番の楽しみは、サンタクロースからのプレゼントでしょう。4世紀頃、東ローマ帝国の「聖（セント）ニコラウス」という教父さんをサンタクロース、としたようです。貧しい家庭の3人の娘が結婚をしようとする時、少しでもお金をもたせてあげたいと、聖ニコラウスが金貨を家に投げ込んだところ、たまたま暖炉に干してあった靴下に入った、という逸話があります。そこから、人々は、クリスマスになると靴下を吊すようになっていった、とのことでした。それから、国や地域によって違いはありますが、サンタクロースは、シャープとクランプスという2人の怪人を連れてくることもあります。良い子にはサンタさんからプレゼントが渡されるのですが、悪い子にはシャープとクランプスによるお仕置きがあるのです。他には、悪い子には真っ黒な炭を配るベファーナという魔女がいたり、悪い子の靴下に石を入れるブラックサンタがいたりします。秋田県の「なまはげ」とサンタクロースと一緒にやってくるようです。嫉妬のためなのでしょうか。世界のどの国や地域も、子供が健やかに育ってほしい、という気持ちには変わりないようです。

最高のプレゼントとは？

最高のプレゼントとは、何でしょう。クリスマスが近いので、ゲーム、スマートフォン、おもちゃなどの「モノ」がほしい、と子供たちは言うでしょう。しかし、私が思う最高のプレゼントは、「自分で・自分から、誰かのため・何かのため」に努力したり、挑戦したり、試行錯誤したりできる力だと思います。その力によって、自分の成長を感じたり、周囲の人を幸せにさせたりして、皆を「清々しい」気持ちにさせる子になっていくことが最高のプレゼントではないでしょうか。六小では、子供たち、保護者・地域の方、そして教職員の、清々しい気持ちにさせてくれる姿をたくさん見かけます。利他的でウェルビーイングのある様子は、私自身が毎日プレゼントをいただいている気持ちです。大きな成果でなくても、次なる試行錯誤を続けていく営みこそが、太陽（光）であり、生きる力であり、最高のプレゼントだと思います。クリスマスである終業式では、シャープとクランプスからお仕置きされたような気持ちではなく、「自分はよくやった。」と、子供たちが思えるような最高のプレゼントを届けられるよう、2学期のまとめをしていきたいと思っています。